

調査の概要

- 1 この報告書は、住民基本台帳等人口調査要綱及び報告要領に基づき、平成10年1月1日現在で調査したものである。
- 2 調査内容は、住民基本台帳法により、住民票に記載されている公帳簿上の世帯数及び人口（男・女）を、区市町村ごとに町丁（字）別、年齢各歳別に把握したものである。
- 3 住民基本台帳法の適用を除外されている者（日本の国籍を有しない者及び戸籍法の適用を受けない者）は、調査の対象としていない。
- 4 町丁（字）制を施行していない地域等については、通常用いている区画（自治会、町会名称等）によることとしたが、利島村、神津島村、御蔵島村及び青ヶ島村については、村を1つの区画とした。

凡 例

- 1 統計表及び図表の数値は、特にことわり書きのない限り、各年1月1日現在の数値を示す。
- 2 市部、町村部の区域は、過去に遡って現在の区域に組み替えて表章した。
- 3 統計表において「-」印は皆無又は該当数のないことを示し、「△」印はマイナス（減）を示す。
- 4 統計表において割合を示す数値は、少数点以下2位又は3位を四捨五入したものである。したがって、内訳の合計は必ずしも総数に一致しない。

この報告書についての照会は

総務局統計部人口統計課人口動態統計係

電話 5321-1111(代)

内線25-511・2

5388-2531(ダイヤルイン)

結果の概説

1 1月1日現在人口

平成10年1月1日現在における東京都の住民基本台帳人口は11,641,308人で、前年に比べ38,666人(0.33%)の増加となっている。

調査開始(昭和32年)以来の推移をみると、55年、56年を除いて毎年増加していたものの、63年以降は減少を続けてきたが9年には増加に転じ、10年は2年連続して増加している。

人口総数を男女別にみると、男子5,808,485人、女子5,832,823人であり、前年に比べ、男子は14,574人(0.25%)、女子は24,092人(0.41%)増加した。人口性比(女子100人に対する男子の数)は99.6で、前年に比べ0.1ポイント低下し、前年に引き続き100を下回っている。

地域別にみると、区部人口は7,863,301人で、前年に比べ16,478人(0.21%)、市部人口は3,685,048人で、22,561人(0.62%)といずれも増加となっている。一方、町村部人口は92,959人で373人(0.40%)の減少となっている。

(表1、表2、図1、統計表第1表参照)

図1 人口総数及び人口増減率の推移
(昭和32年～平成10年)

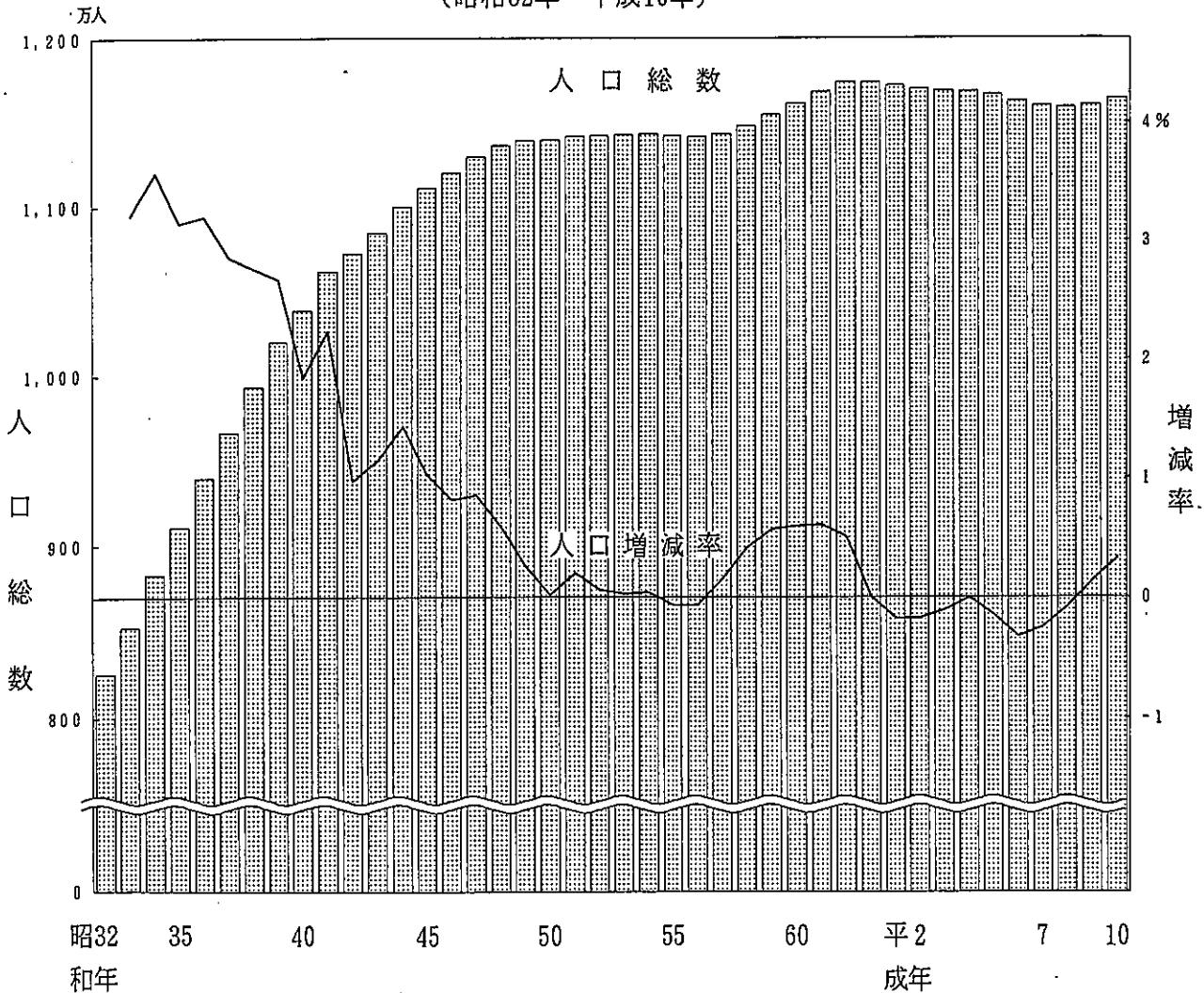


表1 人口総数及び男女別人口の推移（昭和63年～平成10年）

(単位 人、%)

年次	総数			男			女			人口性比
	人口	増減人口	増減率	人口	増減人口	増減率	人口	増減人口	増減率	
昭和63年	11 740 361	△ 535	△0.00	5 908 098	2 701	0.05	5 832 263	△ 3 236	△0.06	101.3
64	11 718 720	△21 641	△0.18	5 897 900	△10 198	△0.17	5 820 820	△11 443	△0.20	101.3
平成2年	11 698 060	△20 660	△0.18	5 883 398	△14 502	△0.25	5 814 662	△ 6 158	△0.11	101.2
3	11 684 927	△13 133	△0.11	5 872 424	△10 974	△0.19	5 812 503	△ 2 159	△0.04	101.0
4	11 683 316	△ 1 611	△0.01	5 865 617	△ 6 807	△0.12	5 817 699	5 196	0.09	100.8
5	11 666 227	△17 089	△0.15	5 850 386	△15 231	△0.26	5 815 841	△ 1 858	△0.03	100.6
6	11 627 577	△38 650	△0.33	5 824 125	△26 261	△0.45	5 803 452	△12 389	△0.21	100.4
7	11 598 634	△28 943	△0.25	5 803 315	△20 810	△0.36	5 795 319	△ 8 133	△0.14	100.1
8	11 587 726	△10 908	△0.09	5 791 829	△11 486	△0.20	5 795 897	578	0.01	99.9
9	11 602 642	14 916	0.13	5 793 911	2 082	0.04	5 808 731	12 834	0.22	99.7
10	11 641 308	38 666	0.33	5 808 485	14 574	0.25	5 832 823	24 092	0.41	99.6

表2 地域別人口の推移（昭和63年～平成10年）

(単位 人、%)

年次	区 部			市 部			町 村 部		
	人口	増減人口	増減率	人口	増減人口	増減率	人口	増減人口	増減率
昭和63年	8 205 865	△46 045	△0.56	3 443 016	44 699	1.32	91 480	811	0.89
64	8 150 115	△55 750	△0.68	3 476 579	33 563	0.97	92 026	546	0.60
平成2年	8 091 701	△58 414	△0.72	3 513 779	37 200	1.07	92 580	554	0.60
3	8 045 577	△46 124	△0.57	3 546 414	32 635	0.93	92 936	356	0.38
4	8 012 523	△33 054	△0.41	3 577 677	31 263	0.88	93 116	180	0.19
5	7 969 439	△43 084	△0.54	3 603 748	26 071	0.73	93 040	△76	△0.08
6	7 913 299	△56 140	△0.70	3 620 949	17 201	0.48	93 329	289	0.31
7	7 871 159	△42 140	△0.53	3 634 040	13 091	0.36	93 435	106	0.11
8	7 846 487	△24 672	△0.31	3 647 690	13 650	0.38	93 549	114	0.12
9	7 846 823	336	0.00	3 662 487	14 797	0.41	93 332	△ 217	△0.23
10	7 863 301	16 478	0.21	3 685 048	22 561	0.62	92 959	△ 373	△0.40

2 年齢別人口

(1) 5歳階級別人口

人口総数を5歳階級別（カッコ内の数字は構成比）にみると、25～29歳が1,121,587人（9.63%）で最も多く、次いで、20～24歳の1,008,877人（8.67%）、30～34歳の944,333人（8.11%）の順となっている。

5歳階級別人口を地域別にみると、区部は、25～29歳が771,084人（9.81%）で最も多く、次いで、20～24歳の667,847人（8.49%）、30～34歳の648,128人（8.24%）の順となっている。市部は、25～29歳が344,620人（9.35%）で最も多く、次いで、20～24歳の335,034人（9.09%）、45～49歳の297,327人（8.07%）の順となっている。

一方、町村部は、45～49歳の8,516人（9.16%）、50～54歳の7,279人（7.83%）、55～59歳の6,250人（6.72%）の順となっている。
（表3参照）

表3 地域別、年齢（5歳階級）別人口

（単位 人、%）

年 齢	総 数	区 部	市 部	町 村 部	構 成 比			
					総 数	区 部	市 部	町村部
総 数	11 641 308	7 863 301	3 685 048	92 959	100.00	100.00	100.00	100.00
0～4歳	472 701	302 281	166 609	3 811	4.06	3.84	4.52	4.10
5～9	463 164	293 656	165 072	4 436	3.98	3.73	4.48	4.77
10～14	516 834	327 536	183 959	5 339	4.44	4.17	4.99	5.74
15～19	625 409	395 624	223 766	6 019	5.37	5.03	6.07	6.47
20～24	1 008 877	667 847	335 034	5 996	8.67	8.49	9.09	6.45
25～29	1 121 587	771 084	344 620	5 883	9.63	9.81	9.35	6.33
30～34	944 333	648 128	290 957	5 248	8.11	8.24	7.90	5.65
35～39	769 716	525 574	238 994	5 148	6.61	6.68	6.49	5.54
40～44	707 881	478 518	223 334	6 029	6.08	6.09	6.06	6.49
45～49	935 513	629 670	297 327	8 516	8.04	8.01	8.07	9.16
50～54	857 259	579 636	270 344	7 279	7.36	7.37	7.34	7.83
55～59	801 113	542 257	252 606	6 250	6.88	6.90	6.85	6.72
60～64	731 733	505 353	220 549	5 831	6.29	6.43	5.98	6.27
65～69	590 707	412 073	173 490	5 144	5.07	5.24	4.71	5.53
70～74	443 305	315 118	123 644	4 543	3.81	4.01	3.36	4.89
75～79	295 807	213 445	79 169	3 193	2.54	2.71	2.15	3.43
80～84	200 615	144 718	53 598	2 299	1.72	1.84	1.45	2.47
85～89	108 613	77 930	29 371	1 312	0.93	0.99	0.80	1.41
90歳以上	46 124	32 846	12 595	683	0.40	0.42	0.34	0.73
不詳者	17	7	10	—	0.00	0.00	0.00	—

(2) 10歳階級別構成比

人口総数を10歳階級別の構成比で見ると、20歳代が18.30%で最も高く、次いで30歳代(14.72%)、50歳代(14.25%)の順となっている。

次に、10年前の構成比と比べると、0～9歳、10歳代、30歳代及び40歳代では低下しており、20歳代及び50歳代以上の階級では上昇している。

(表4、図2参照)

(3) 10歳階級別人口性比

人口性比を10歳階級別にみると、30歳代が113.0で最も高く、次いで20歳代(110.6)、40歳代(105.9)の順となっている。

人口性比は50歳代で100を割り、年代が進むにつれて低くなっている。

(表4、図2参照)

図2 年齢(10歳階級)別人口の推移
(昭和53年・昭和63年・平成10年)

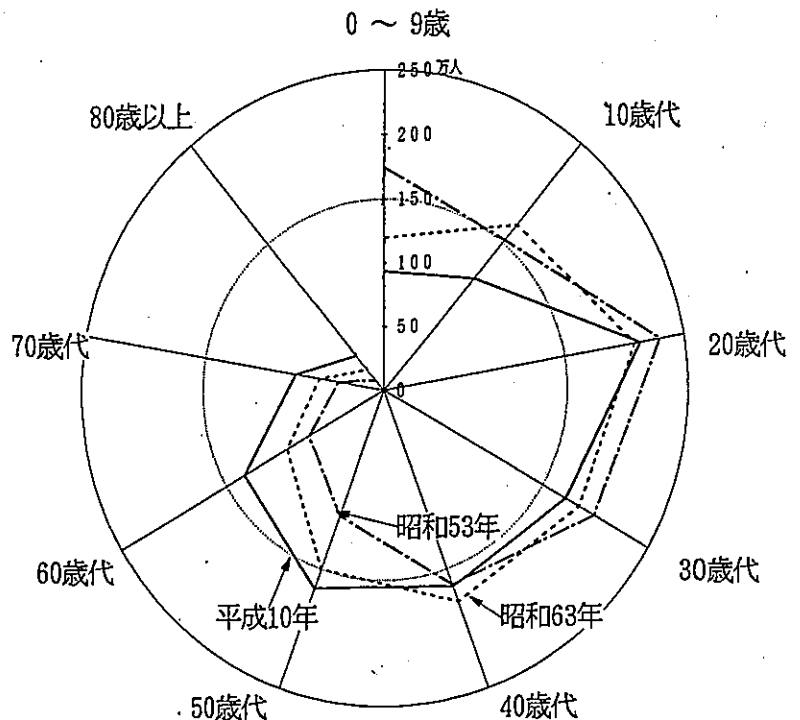


表4 男女別人口の年齢(10歳階級)別構成比及び性比の推移(53年・63年・10年)

年齢	昭和53年			昭和63年			平成10年			人口性比		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	53年	63年	10年
総数	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	101.0	101.3	99.6
0～9歳	15.27	15.59	14.95	10.17	10.34	10.01	8.04	8.24	7.83	105.3	104.6	104.8
10歳代	13.39	13.69	13.08	14.33	14.72	13.94	9.81	10.07	9.56	105.8	106.9	104.9
20歳代	20.14	21.65	18.62	17.76	19.26	16.24	18.30	19.26	17.35	117.5	120.1	110.6
30歳代	17.35	17.62	17.08	15.68	16.43	14.92	14.72	15.66	13.79	104.3	111.5	113.0
40歳代	14.25	13.92	14.58	15.12	14.95	15.30	14.12	14.55	13.68	96.5	99.0	105.9
50歳代	9.16	8.29	10.04	12.74	12.30	13.18	14.25	14.12	14.37	83.4	94.5	97.8
60歳代	6.19	5.61	6.79	7.80	6.85	8.76	11.36	10.76	11.96	83.5	79.2	89.6
70歳代	3.32	2.93	3.72	4.61	3.85	5.38	6.35	5.25	7.45	79.7	72.5	70.2
80歳代	0.85	0.65	1.06	1.63	1.21	2.05	2.66	1.88	3.43	62.3	60.0	54.4
90歳以上	0.06	0.03	0.08	0.16	0.09	0.22	0.40	0.21	0.58	40.3	43.3	36.9

(注) 総数には年齢不詳者を含む。

3 年齢3区分別人口

(1) 年齢3区分別人口の推移

人口総数を年齢3区分別にみると、年少人口(0～14歳)は1,452,699人で、前年に比べ16,074人(1.09%)の減となっており、51年以降減少が続いている。人口総数に占める割合は12.48%であり、10年前の63年(16.57%)に比べ4.09ポイント低下している。

生産年齢人口(15～64歳)は8,503,421人で、前年に比べ18,004人(0.21%)の減となり、6年続けての減少となった。人口総数に占める割合は73.05%であり、10年前(73.75%)に比べ0.7ポイント上昇している。

老年人口(65歳以上)は1,685,171人で、前年に比べ72,746人(4.51%)の増となっており、調査開始以来一貫して増加している。人口総数に占める割合は14.48%で、10年前(9.68%)に比べ、4.8ポイント上昇している。

なお、老年人口のうちの70歳以上は1,094,464人で前年に比べ48,183人(4.61%)の増で人口総数に占める割合は9.40%となり、また、75歳以上は651,159人で前年に比べ26,199人(4.19%)の増で人口総数に占める割合は5.59%となっている。

(表5-1、表5-2、表6、図3、統計表第2表参照)

表5-1 年齢(3区分)別人口の推移(昭和63年～平成10年)

(単位 人、%)

年次	年少人口(0～14歳)			生産年齢人口(15～64歳)			老年人口(65歳以上)			うち70歳以上					
										うち75歳以上					
	人口	増減人口	増減率	人口	増減人口	増減率	人口	増減人口	増減率	人口	増減人口	増減率	人口	増減人口	増減率
昭和63年	1 945 822	△82 054	△4.05	8 658 037	46 187	0.54	1 136 479	35 335	3.21	750 748	24 357	3.35	438 481	19 916	4.76
64	1 858 201	△87 621	△4.50	8 687 938	29 901	0.35	1 172 552	36 073	3.17	769 862	19 114	2.55	458 921	20 440	4.66
平成2年	1 777 415	△80 786	△4.35	8 705 260	17 322	0.20	1 215 356	42 804	3.65	793 914	24 052	3.12	481 396	22 475	4.90
3	1 712 004	△65 411	△3.68	8 706 731	1 471	0.02	1 266 165	50 809	4.18	822 312	28 398	3.58	501 455	20 059	4.17
4	1 656 726	△55 278	△3.23	8 708 151	1 420	0.02	1 318 412	52 247	4.13	852 706	30 394	3.70	519 950	18 495	3.69
5	1 605 905	△50 821	△3.07	8 688 396	△19 755	△0.23	1 371 902	53 490	4.06	882 964	30 258	3.55	538 984	19 034	3.66
6	1 557 250	△48 655	△3.03	8 641 549	△46 847	△0.54	1 428 756	56 854	4.14	915 063	32 099	3.64	554 187	15 203	2.82
7	1 521 495	△35 755	△2.30	8 590 559	△50 990	△0.59	1 486 560	57 804	4.05	952 995	37 932	4.15	574 111	19 924	3.60
8	1 491 832	△29 663	△1.95	8 549 947	△40 612	△0.47	1 545 928	59 368	3.99	998 471	45 476	4.77	597 993	23 882	4.16
9	1 468 773	△23 059	△1.55	8 521 425	△28 522	△0.33	1 612 425	66 497	4.30	1 046 281	47 810	4.79	624 960	26 967	4.51
10	1 452 699	△16 074	△1.09	8 503 421	△18 004	△0.21	1 685 171	72 746	4.51	1 094 464	48 183	4.61	651 159	26 199	4.19

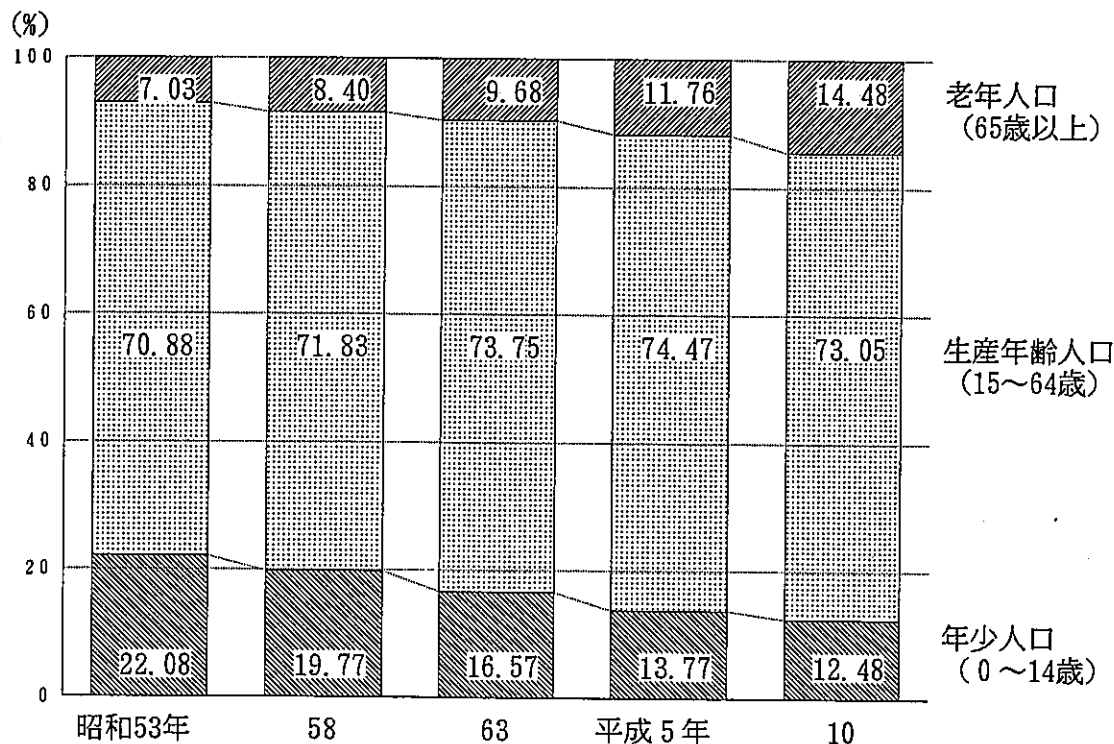
表 5 - 2 年齢（3区分）別人口及び構成比の推移（昭和63年～平成10年）

（単位 人、％）

年次	総数		年少人口 (0～14歳)		生産年齢人口 (15～64歳)		老年人口 (65歳以上)		うち70歳以上		うち75歳以上	
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
昭和63年	11 740 361	100.0	1 945 822	16.57	8 658 037	73.75	1 136 479	9.68	750 748	6.39	438 481	3.73
64	11 718 720	100.0	1 858 201	15.86	8 687 938	74.14	1 172 552	10.01	769 862	6.57	458 921	3.92
平成2年	11 698 060	100.0	1 777 415	15.19	8 705 260	74.42	1 215 356	10.39	793 914	6.79	481 396	4.12
3	11 684 927	100.0	1 712 004	14.65	8 706 731	74.51	1 266 165	10.84	822 312	7.04	501 455	4.29
4	11 683 316	100.0	1 656 726	14.18	8 708 151	74.53	1 318 412	11.28	852 706	7.30	519 950	4.45
5	11 666 227	100.0	1 605 905	13.77	8 688 396	74.47	1 371 902	11.76	882 964	7.57	538 984	4.62
6	11 627 577	100.0	1 557 250	13.39	8 641 549	74.32	1 428 756	12.29	915 063	7.87	554 187	4.77
7	11 598 634	100.0	1 521 495	13.12	8 590 559	74.07	1 486 560	12.82	952 995	8.22	574 111	4.95
8	11 587 726	100.0	1 491 832	12.87	8 549 947	73.78	1 545 928	13.34	998 471	8.62	597 993	5.16
9	11 602 642	100.0	1 468 773	12.66	8 521 425	73.44	1 612 425	13.90	1 046 281	9.02	624 960	5.39
10	11 641 308	100.0	1 452 699	12.48	8 503 421	73.05	1 685 171	14.48	1 094 464	9.40	651 159	5.59

（注）総数には年齢不詳者を含む。

図 3 年齢（3区分）別人口（構成比）の推移
（昭和53年～平成10年）



(2) 地域別比較

年齢3区分別人口の構成比を地域別にみると、年少人口の割合は、町村部(14.62%)が最も高く、次いで、市部(13.99%)、区部(11.74%)の順となっている。

生産年齢人口の割合は、市部(73.20%)が最も高く、次いで、区部(73.04%)、町村部(66.91%)の順となっている。

老年人口の割合は、町村部(18.47%)が最も高く、次いで、区部(15.21%)、市部(12.80%)の順となっており、特に、島部の町村(23.48%)が際立って高い。(表6参照)

表6 地域別、年齢(3区分)別人口

(単位 人、%)

地 域	総 数		年少人口(0~14歳)		生産年齢人口(15~64歳)		老年人口(65歳以上)	
	人 口	構成比	人 口	構成比	人 口	構成比	人 口	構成比
総 数	11 641 308	100.00	1 452 699	12.48	8 503 421	73.05	1 685 171	14.48
区 部	7 863 301	100.00	923 473	11.74	5 743 691	73.04	1 196 130	15.21
市 部	3 685 048	100.00	515 640	13.99	2 697 531	73.20	471 867	12.80
町村部	92 959	100.00	13 586	14.62	62 199	66.91	17 174	18.47
郡部	61 082	100.00	8 882	14.54	42 510	69.59	9 690	15.86
島部	31 877	100.00	4 704	14.76	19 689	61.77	7 484	23.48

(注) 総数には年齢不詳者を含む。

(3) 区市町村別比較

年齢3区分別人口の構成比を区市町村別(島部を除く。)にみると、年少人口の割合は、瑞穂町(16.73%)が最も高く、都全体(12.48%)に比べ4.25ポイント高くなっている。次いで、羽村市(16.63%)、青梅市(16.28%)の順となっており、最も低いのは渋谷区(9.06%)で、豊島区(9.43%)、新宿区(9.58%)の順となっている。

生産年齢人口の割合は、多摩市(76.22%)が最も高く、都全体(73.05%)に比べ3.17ポイント高くなっている。次いで、稲城市(74.79%)、狛江市(74.64%)の順となっており、最も低いのは檜原村(57.68%)で、奥多摩町(60.97%)、千代田区(68.54%)の順となっている。

老年人口の割合は、檜原村(31.68%)が最も高く、都全体(14.48%)に比べ17.20ポイント高くなっている。次いで、奥多摩町(28.33%)、台東区(20.24%)の順となっている。最も低いのは多摩市(9.15%)で、稲城市(9.65%)、羽村市(9.72%)の順となっている。

年齢3区分別人口の構成比を島部の町村別にみると、年少人口の割合は、全ての町村において都全体(12.48%)を上回っている。生産年齢人口の割合は、小笠原村(73.05%)を除いた全ての町村において都全体(73.05%)を下回っている。また、老年人口の割合は、小笠原村(9.83%)を除いた全ての町村において都全体(14.48%)を上回っている。(表7参照)

表7 区市町村別平均年齢及び年齢（3区分）別人口の割合

地 域	平 均 年 齢 (歳)	年齢(3区分) 別人口の割合(%)			地 域	平 均 年 齢 (歳)	年齢(3区分) 別人口の割合(%)		
		0~14歳	15~64歳	65歳以上			0~14歳	15~64歳	65歳以上
総 数	40.51	12.48	73.05	14.48	田 無 市	39.53	14.09	72.48	13.44
区 部	41.12	11.74	73.04	15.21	保 谷 市	40.34	13.43	71.38	15.19
千代田区	42.95	12.10	68.54	19.35	福 生 市	38.25	15.91	72.22	11.87
中央区	42.33	12.60	70.03	17.38	狛 江 市	40.29	11.37	74.64	13.98
中港区	42.73	10.54	72.26	17.20	東大和市	38.99	15.47	72.76	11.77
新宿区	42.55	9.58	73.31	17.11	清 瀬 市	40.48	13.88	71.92	14.19
文京区	42.55	10.69	71.25	18.06	東久留米市	39.39	14.55	73.16	12.29
台東区	44.89	9.87	69.89	20.24	武蔵村山市	38.47	15.85	73.14	11.01
墨田区	42.66	11.42	71.69	16.89	多 摩 市	37.51	14.63	76.22	9.15
江東区	41.33	11.84	74.25	13.91	稲 城 市	37.61	15.56	74.79	9.65
品川区	42.03	10.80	73.12	16.08	羽 村 市	37.13	16.63	73.65	9.72
目黒区	41.59	10.18	73.79	16.03	あきる野市	39.93	15.50	70.49	14.01
大田区	41.25	11.81	72.89	15.30	町 村 部	42.31	14.62	66.91	18.47
世田谷区	40.38	11.03	74.22	14.74	郡 部	40.96	14.54	69.59	15.86
渋谷区	42.16	9.06	74.40	16.54	瑞 穂 町	37.88	16.73	72.48	10.79
中野区	41.48	9.80	73.94	16.26	日の出町	41.89	12.95	70.72	16.32
杉並区	40.94	10.32	73.97	15.71	檜 原 村	49.37	10.64	57.68	31.68
豊島区	42.55	9.43	73.24	17.33	奥多摩町	47.68	10.70	60.97	28.33
北区	43.15	10.64	71.37	17.99	島 部	44.91	14.76	61.77	23.48
荒川区	43.36	11.59	70.03	18.38	大島支庁	45.41	13.93	61.56	24.51
板橋区	40.44	12.23	73.58	14.19	大島町	45.57	13.09	62.55	24.35
練馬区	39.65	13.62	72.67	13.71	利島村	43.07	15.96	63.52	20.52
足立区	40.33	13.63	72.92	13.46	新島村	47.93	12.72	58.81	28.47
葛飾区	40.88	13.34	71.83	14.83	神津島村	41.52	18.87	60.97	20.15
江戸川区	38.42	14.72	74.14	11.14	三宅支庁	46.35	14.11	59.28	26.61
市 部	39.17	13.99	73.20	12.80	三宅村	46.79	13.86	58.99	27.16
八王子市	38.78	14.37	73.32	12.31	御蔵島村	39.68	17.94	63.74	18.32
立川市	39.13	13.89	73.30	12.81	八丈支庁	45.40	15.81	60.47	23.72
武蔵野市	40.39	11.64	72.93	15.43	八丈町	45.54	15.73	60.41	23.86
三鷹市	39.87	12.16	73.48	14.36	青ヶ島村	38.92	19.61	63.24	17.16
青梅市	38.72	16.28	70.85	12.87	小笠原支庁	36.94	17.12	73.05	9.83
府中市	38.78	14.06	73.29	12.65	小笠原村	36.94	17.12	73.05	9.83
昭島市	39.26	15.12	71.84	13.04	小平市	38.93	14.31	72.64	13.05
調布市	39.32	12.52	74.40	13.08	日野市	38.99	13.23	74.40	12.37
町田市	39.56	13.76	73.89	12.35	東村山市	40.26	14.19	71.18	14.63
小金井市	39.13	13.31	72.86	13.83	国分寺市	39.22	12.72	73.84	13.44
小平市	38.93	14.31	72.64	13.05	国立市	38.86	13.73	73.15	13.12
日野市	38.99	13.23	74.40	12.37					
東村山市	40.26	14.19	71.18	14.63					
国分寺市	39.22	12.72	73.84	13.44					
国立市	38.86	13.73	73.15	13.12					

4 平均年齢

平均年齢は、40.5歳と前年に比べ 0.3歳高くなっている。これを男女別にみると、男子39.2歳、女子41.8歳と女子のほうが 2.6歳高くなっている。

地域別にみると町村部の42.3歳が最も高く、次いで、区部（41.1歳）、市部（39.2歳）の順となっており、いずれの地域でも上昇が続いている。

区市町村別にみると、檜原村の 49.37歳が最も高く、次いで、新島村(47.93歳)、奥多摩町(47.68歳)の順となっている。最も低いのは小笠原村(36.94歳)で、羽村市(37.13歳)、多摩市(37.51歳)の順となっている。

区部のみでは台東区(44.89歳)が最も高く、次いで、荒川区(43.36歳)、北区(43.15歳)の順となっており、最も低いのは江戸川区(38.42歳)で、練馬区(39.65歳)、足立区(40.33歳)の順となっている。
(表7、表8参照)

表8 地域別、男女別平均年齢の推移（昭和53年～平成10年）

(単位 歳)

地 域		53年	58年	63年	5年	6年	7年	8年	9年	10年
総 数	総 数	31.5	33.3	35.2	38.5	39.0	39.4	39.8	40.2	40.5
	区 部	32.0	34.0	35.9	39.2	39.7	40.1	40.5	40.8	41.1
	市 部	30.7	32.8	34.8	37.0	37.4	37.9	38.3	38.8	39.2
	町村部	34.5	36.0	37.7	39.8	40.3	40.7	41.1	41.8	42.3
	郡部	32.8	34.3	36.0	38.2	38.7	39.2	39.7	40.4	41.0
	島部	35.8	37.7	39.5	42.7	43.2	43.6	43.9	44.4	44.9
男	総 数	30.6	32.3	34.1	37.2	37.7	38.1	38.5	38.9	39.2
	区 部	31.0	32.9	34.6	37.9	38.3	38.7	39.1	39.4	39.8
	市 部	30.0	31.9	33.8	35.8	36.3	36.7	37.2	37.6	38.0
	町村部	33.5	35.0	36.5	38.5	38.9	39.4	39.8	40.3	40.8
	郡部	32.1	33.6	35.1	37.1	37.6	38.0	38.4	39.1	39.6
	島部	34.4	36.4	38.0	41.1	41.6	42.0	42.4	42.8	43.3
女	総 数	32.4	34.3	36.4	39.8	40.3	40.7	41.1	41.5	41.8
	区 部	33.0	35.1	37.2	40.5	41.0	41.4	41.8	42.2	42.5
	市 部	31.4	33.6	35.8	38.1	38.6	39.0	39.5	39.9	40.4
	町村部	35.5	37.0	38.9	41.1	41.6	42.1	42.5	43.2	43.8
	郡部	33.4	35.0	37.0	39.4	40.0	40.4	41.0	41.8	42.4
	島部	37.2	39.1	41.0	44.4	44.8	45.1	45.5	46.0	46.5

5 年齢構造指数

年少人口指数は17.1で、前年より 0.1ポイント低下し、老年人口指数は逆に19.8と 0.9ポイント上昇している。

年少人口指数は51年以降低下し続けているのに対し、老年人口指数は調査開始以来一貫して上昇を続けている。

従属人口指数は前年より 0.7ポイント上昇し、36.9となった。

老年化指数は前年より 6.2ポイント高い 116.0となり、10年前の58.4の約2倍になっている。

(表9、図4参照)

$$\text{年少人口指数} = \frac{\text{年少人口 (0~14歳)}}{\text{生産年齢人口 (15~64歳)}} \times 100$$

$$\text{老年人口指数} = \frac{\text{老年人口 (65歳以上)}}{\text{生産年齢人口 (15~64歳)}} \times 100$$

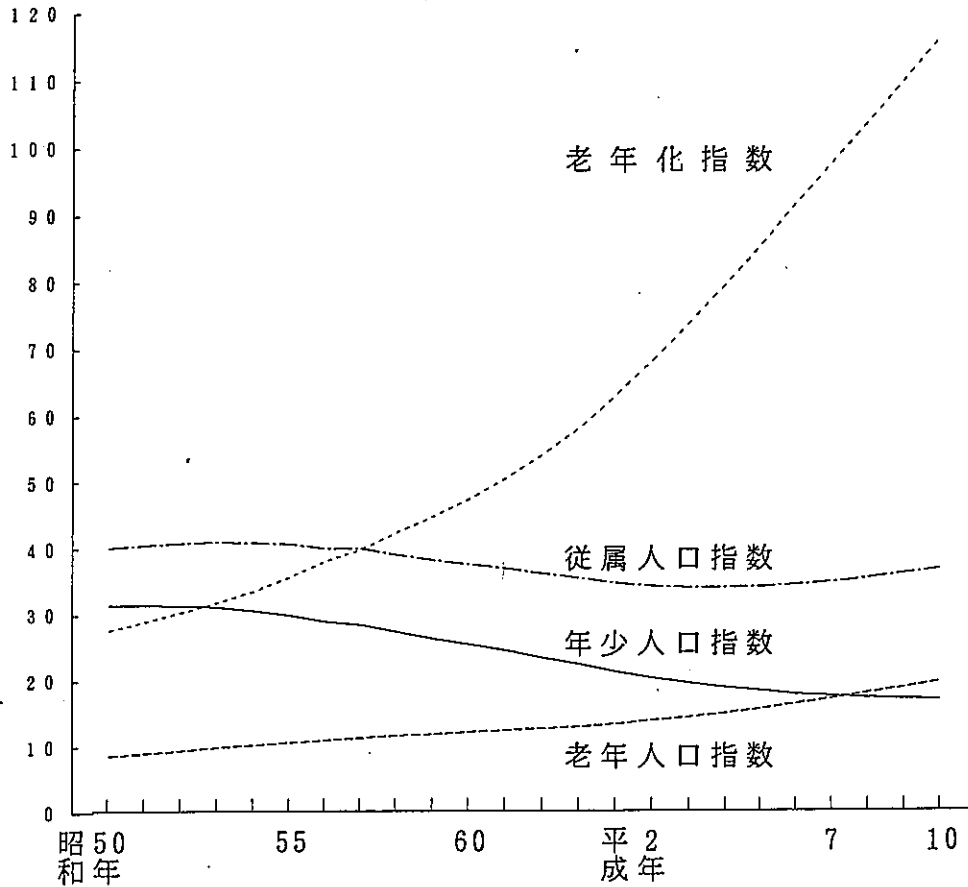
$$\text{従属人口指数} = \frac{\text{年少人口 (0~14歳)} + \text{老年人口 (65歳以上)}}{\text{生産年齢人口 (15~64歳)}} \times 100$$

$$\text{老年化指数} = \frac{\text{老年人口 (65歳以上)}}{\text{年少人口 (0~14歳)}} \times 100$$

表9 年齢構造指数の推移 (昭和53年~平成10年)

指 数	53年	58年	63年	5 年	6 年	7 年	8 年	9 年	10年
年少人口指数	31.2	27.5	22.5	18.5	18.0	17.7	17.4	17.2	17.1
老年人口指数	9.9	11.7	13.1	15.8	16.5	17.3	18.1	18.9	19.8
従属人口指数	41.1	39.2	35.6	34.3	34.6	35.0	35.5	36.2	36.9
老年化指数	31.9	42.5	58.4	85.4	91.7	97.7	103.6	109.8	116.0

図4 年齢構造指数の推移
(昭和50年～平成10年)



6 世帯数

世帯総数は 5,239,545世帯で前年に比べ73,504世帯(1.42%)の増加となった。1世帯当たりの人員は調査開始以来一貫して減少を続け、2.22人と前年に比べ0.03人少なくなっている。

これを地域別にみると、区部は 3,690,179世帯で、前年に比べ48,161世帯(1.32%)、市部は 1,513,242世帯で24,910世帯(1.67%)、町村部は36,124世帯で 433世帯(1.21%)とそれぞれ増加している。1世帯当たりの人員は、町村部の2.57人が最も多く、次いで、市部(2.44人)、区部(2.13人)の順となっている。

区市町村別にみると、世田谷区が 378,893世帯で最も多く、次いで、大田区(294,920世帯)、練馬区(277,532世帯)の順となっており、最も少ないのは青ヶ島村(116世帯)で、御蔵島村(142世帯)、利島村(151世帯)の順となっている。

1世帯当たりの人員は日の出町が2.95人で最も多く、次いで、瑞穂町(2.94人)、神津島村(2.93人)の順となっており、最も少ないのは青ヶ島村(1.76人)で、小笠原村(1.83人)、渋谷区及び御蔵島村(1.85人)の順となっている。

(表10、表11、統計表第1表、第3表、第7表参照)

表10 地域別世帯数の推移（昭和63年～平成10年）

（単位 世帯、%）

年次	総数			区部			市部			町村部		
	世帯数	増減数	増減率	世帯数	増減数	増減率	世帯数	増減数	増減率	世帯数	増減数	増減率
昭和63年	4 771 277	39 926	0.84	3 479 694	9 530	0.27	1 260 956	29 736	2.42	30 627	660	2.20
64	4 802 946	31 669	0.66	3 482 180	2 486	0.07	1 289 558	28 602	2.27	31 208	581	1.90
平成2年	4 842 053	39 107	0.81	3 489 665	7 485	0.21	1 320 538	30 980	2.40	31 850	642	2.06
3	4 890 903	48 850	1.01	3 508 572	18 907	0.54	1 349 916	29 378	2.22	32 415	565	1.77
4	4 947 560	56 657	1.16	3 533 490	24 918	0.71	1 381 149	31 233	2.31	32 921	506	1.56
5	4 994 278	46 718	0.94	3 551 171	17 681	0.50	1 409 694	28 545	2.07	33 413	492	1.49
6	5 023 585	29 307	0.59	3 559 036	7 865	0.22	1 430 530	20 836	1.48	34 019	606	1.81
7	5 054 473	30 888	0.61	3 573 202	14 166	0.40	1 446 762	16 232	1.13	34 509	490	1.44
8	5 103 541	49 068	0.97	3 601 358	28 156	0.79	1 467 096	20 334	1.41	35 087	578	1.67
9	5 166 041	62 500	1.22	3 642 018	40 660	1.13	1 488 332	21 236	1.45	35 691	604	1.72
10	5 239 545	73 504	1.42	3 690 179	48 161	1.32	1 513 242	24 910	1.67	36 124	433	1.21

表11 1世帯当たり人員の推移（昭和53年～平成10年）

（単位 人）

地域	53年	58年	63年	5年	6年	7年	8年	9年	10年
総数	2.65	2.56	2.46	2.34	2.31	2.29	2.27	2.25	2.22
区部	2.55	2.46	2.36	2.24	2.22	2.20	2.18	2.15	2.13
市部	2.95	2.86	2.73	2.56	2.53	2.51	2.49	2.46	2.44
町村部	3.28	3.14	2.99	2.78	2.74	2.71	2.67	2.62	2.57

図 5-2 人口の年齢構造(昭和53年・平成10年)

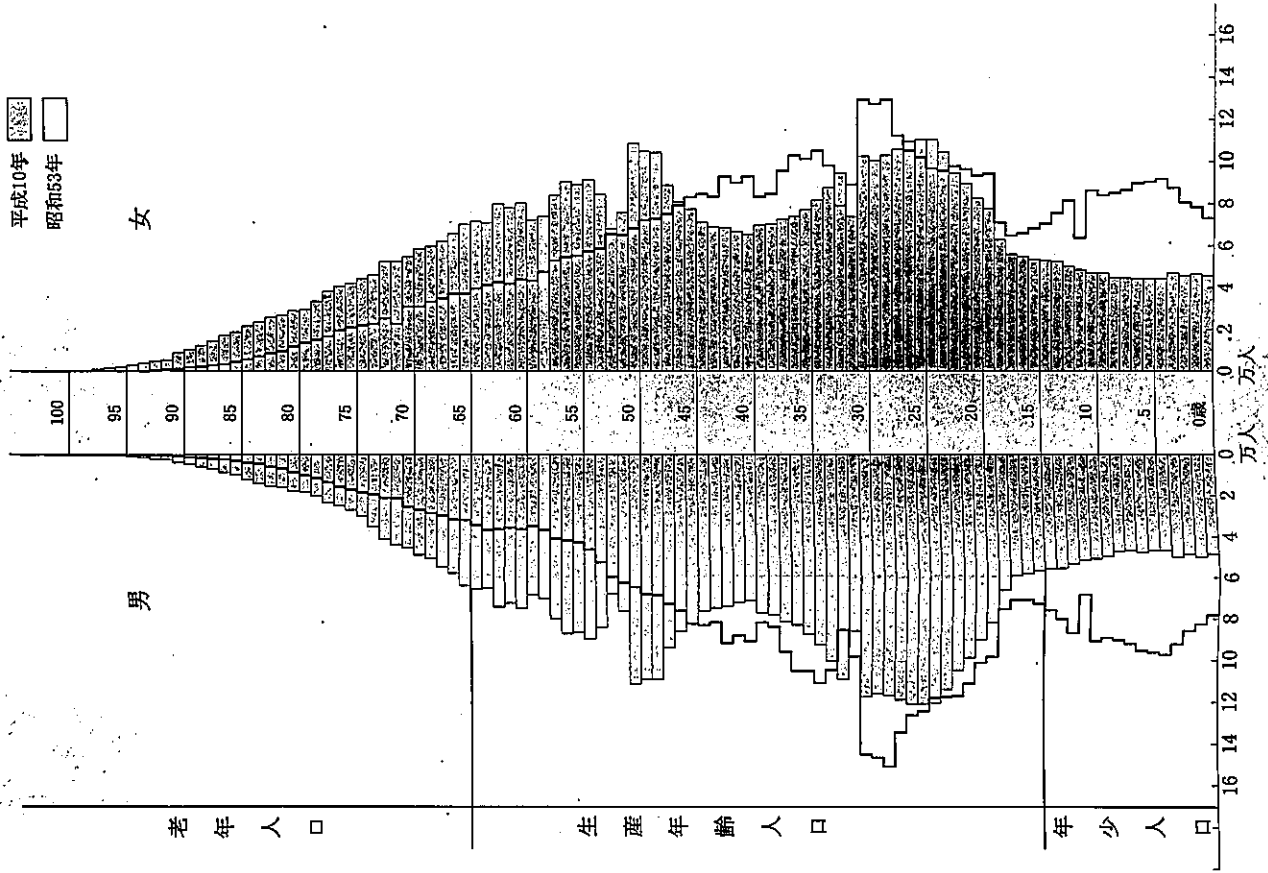


図5-1 人口の年齢構成(平成10年 東京都)

